

令和 3 年度岩美中学校 企画運営部 2 学期マネジメント

理想とする生徒像	年 間 目 標	①現状をもとに、各学年の目標に向かって、生徒が企画・運営・確認していく場面（P D C Aサイクル）を設定する。
自治的活動を行うことができ、より良く成長していこうとする生徒集団		②学年内（ヨコのつながり）だけでなく他学年（タテのつながり）も意識し、特別活動部と連携して計画的な仲間づくり活動や自治的活動を実践する。
①分からない問題に対して解決しようと実行し、学びを改善させようとする姿がある		③自分たちの1年間の取り組みを振り返らせ、自分自身の変容を客観的にとらえ、次年度の目標・志を設定し、計画を立てさせる。（自分自身の生き方・成長をP D C Aサイクルで考えさせる）
②フォーサイト手帳を効果的に活用して、チャレンジしていこうとする姿がある		
③志を持って行動に移すことができ、他の人の考えを調整していこうとする姿がある		

目標 番号	2 学期に目標を達成するための活動	活動内容	責任者	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月
①	・ 学期スタートの集会での学年目標・めざす生徒像を確認するとともに、教員の思いを伝える。 ○実施できたか	・ 学期開始前の学年会で、目標やめざす生徒像について所属教員で思いを共有する。 ・ 学期当初の学年集会で、目標やめざす生徒像についての思いを生徒へ伝える。 ・ 状況や実態に応じ、適宜、所属教員や生徒へ声かけをしていく。	学年主任 学年主任 学年主任	学年会の開催 学年集会の開催		状況に応じ、学年集会（合同短HR）の開催、学年ホワイトボードによる注意喚起や啓発、学年通信の発行など		
①	・ 学年の現状や活動について教員が思い伝えたり、生徒自身が振り返るための学年集会を適宜開催し、自治意識の向上を図る。 ○実施できたか	・ 必要に応じ、合同短HR等で機会を設定する。 ・ 自治意識を持たせる意味でも、状況や内容によっては生徒主体で企画・運営させるようにする。 ・ 学年だよりの発行や学年ホワイトボードを活用して教員の思いや肯定的評価等をタイムリーに伝える。	学年主任 学年主任		状況に応じ、教員主導の学年集会、生徒主体で企画・運営する学年集会を実施			
① ・ ②	・ 定例的に正副室長会を開催し、学年の現状をもとに具体的な改善策等について検討し、学級に返していく。 ○実施できたか	・ 定例的に開催し、生徒同士で課題を見つけ、具体的な改善案を提案させる。 ・ 後期から「縦割り」で取り組みを行い、課題のあぶり出しや改善案の立案等で上級生が下級生へアドバイスをする場面を意識的に作る。 ・ 全校集会の場を利用して、各学年の正副室長会の代表生徒に取り組み状況を発表させる。（情報の共有）	学年主任 学年主任		※後期（10月）からは「縦割り」での取り組み（行事や日常活動）にチャレンジ	○課題解決に向けて主体的に動くことができたか・・・肯定的意見が90%以上		
②	・ 学校行事や日常活動において学年内、また、他学年との仲間づくり活動を企画・実践する。 ○実施できたか	・ 特別活動部や学習指導部と連携しながら運動会・文化祭に向けての縦割り練習をしくむ。 ・ 教員がフォローしながら生徒会執行部員や正副室長にコロナ禍でも実施可能な仲間づくり活動を企画・実施させる。感染防止対策を十分行い、様々な制約がある中でも実施できるよう工夫する。	部員 部員	運動会練習（縦割り）	文化祭合唱練習（縦割り）	11月18日（木）・19日（金） 3年：修学旅行（一泊二日） 2年：町内事業所取材 1年：ふるさと先生/球技会	『学年仲間づくり活動』or『全校（縦割り）仲間づくり活動』 or『日常活動における縦割り活動』の企画・実施	